

令和 2 年 6 月 22 日現在

機関番号：17401

研究種目：新学術領域研究(研究領域提案型)

研究期間：2015～2019

課題番号：15H05905

研究課題名(和文) リポクオリティ異常に起因する疾患の同定とその分子機構の解明

研究課題名(英文) Identification of diseases harboring abnormalities in LipoQuality and clarification of molecular mechanisms therein

研究代表者

杉本 幸彦 (Sugimoto, Yukihiro)

熊本大学・大学院生命科学研究部(薬)・教授

研究者番号：80243038

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 121,600,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、ホスホリパーゼA2(PLA2)とプロスタグランジン(PG)受容体が関与する疾患を解析し、リポクオリティ-受容体-疾患連関の解明と疾患発症の分子機構の解明を目指し、以下の成果を得た。(1)ヒトEP4受容体の結晶構造を解明し、PGは細胞膜側小孔から、末端を最深部に挿入して結合することを発見した。(2)特定PG受容体が、心筋リプログラミングや腸内細菌代謝脂質応答にリポクオリティ依存的に関わることを見出した。(3)脂肪組織ではPNPLA2がPGE2産生を促し、EP4受容体を介して生理的脂肪分解を高めて肝脂肪を促すことを見出した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

各PG受容体が、型糖尿病や肝がんなど、従来知られていなかった疾患発症に関わること、またその作用機序を同定したことは、医学・生理学の広範な研究分野に大きなインパクトを与えた。またPG受容体の結晶構造を世界で初めて明らかにし、鎖をはじめPG骨格認識部位を同定することで受容体を標的とした創薬を加速するものである。

研究成果の概要(英文)：In this study, in order to elucidate the roles of phospholipase A2 (PLA2) and prostaglandin (PG) receptors in diseases and the molecular mechanisms therein, we analyzed disease-like phenotypes in PLA2- or PG receptor-knockout mice. 1) We clarified the crystal structure of human EP4 and found that EP4 has a ligand access pocket opening toward plasma membrane. 2) We found that particular PG receptors are involved in myocyte reprogramming and gut microbiota-related responses in a lipoquality-dependent manner. 3) In white adipose tissues, PGE2 produced via PNPLA2/COX-1 by acting on EP4 receptor facilitates basal lipolysis and fat accumulation in liver.

研究分野：生化学・分子生物学

キーワード：プロスタグランジン ホスホリパーゼA2 プロスタノイド 脂質メディエーター GPCR 3脂肪酸 脂肪分解 疾患マーカー

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。

様式 C-19、F-19-1、Z-19(共通)

1. 研究開始当初の背景

プロスタグランジン(PG)は、全身の様々な組織で産生される最も代表的な脂質メディエーターであり、標的細胞上に存在する PG 受容体を介して多彩な生理病態作用を発揮する。シクロオキシゲナーゼ (COX) は、 $\omega 6$ 脂肪酸・アラキドン酸、 $\omega 3$ 脂肪酸・エイコサペンタエン酸 (EPA) を共に基質とし、それぞれ $\omega 6$ 系 PG (PGE₂、PGD₂、PGF_{2 α} 、PGI₂、TXA₂)、 $\omega 3$ 系 PG (PGE₃、PGD₃、PGF_{3 α} 、PGI₃、TXA₃) を産生し、両者はともに PG 受容体に作用して機能を発揮する。疫学研究結果に基づき、 $\omega 3/\omega 6$ 脂肪酸含量の違いは心血管疾患の発症リスクと関連することが知られ、また TXA₂ などの $\omega 6$ 系 PG は心血管疾患の発症に関わることから、PG 受容体が $\omega 3/\omega 6$ を区別する可能性が示唆されてきた。しかしながら、各 PG 受容体が $\omega 3/\omega 6$ 系リガンドに等しく応答するか、また $\omega 3$ に特異的な受容体シグナルを流すか、といったリポクオリティ-受容体相関は不明であった。一方、ホスホリパーゼ A₂ (PLA₂) は、リン脂質から脂肪酸とリゾリン脂質を遊離する脂質代謝の初発酵素である。PLA₂ は、細胞内外に 30 種以上の分子種が存在し、これら PLA₂ はリン脂質の脂肪酸・極性基に異なる基質特異性を示すことから、各 PLA₂ が動員する脂肪酸の $\omega 3/\omega 6$ 内訳や下流の脂質メディエーターの種類は全く異なり、内因性脂肪酸代謝バランスの質的違い (リポクオリティ) のボトルネック酵素として広く影響する。実際、各 PLA₂ 欠損が種々の脂肪酸代謝バランスに異常を来すと同時に、さまざまな疾患様の表現型を呈することが示されていたが、具体的にどの責任脂質-受容体シグナルの破綻がこうした疾患様の表現型を引き起こすのかは不明であった。

2. 研究の目的

そこで、PLA₂ の人為的操作がもたらすリポクオリティ異常に起因する疾患を同定し、介在する脂質受容体シグナルに着目することで、リポクオリティ-受容体-疾患の連関を明らかにするとともに、疾患発症の分子機構を解明することを目的とする。すなわち、PG 受容体と PLA₂ の研究分野で、それぞれ世界をリードしてきた研究代表者と分担者が、PLA₂ と受容体の両側から挟み撃ちにして PLA₂ リポクオリティの機能・作用発現機構・病態との連関を解き明かそうとするものである。

3. 研究の方法

①PG 受容体の各機能に対するリポクオリティの影響: まず全 PG 受容体について、 $\omega 6$ 系 PG と $\omega 3$ 系 PG に対する受容体機能を網羅的に解析し、リポクオリティが PG 受容体の応答性に与える影響の分子基盤を確立する。結果に基づき、 $\omega 3$ -rich 条件で病態モデルを解析し、PG の関与疾患でのリポクオリティの意義解明を目指す。

②疾患に影響する PLA₂ リポクオリティの同定: 多彩な PLA₂ ファミリーのうち、 $\omega 6$ 系および $\omega 3$ 系の脂質メディエーターを動員する、あるいは $\omega 6/\omega 3$ とは異なるリポクオリティへの制御が想定されるアイソザイムに注目し、疾患に繋がる PLA₂ リポクオリティの本体となる脂質分子をリピドミクス解析による同定を試みる。

③PLA₂ リポクオリティ-疾患連関を介在する受容体と責任細胞の同定: 各 PLA₂ 欠損による病態を再現する脂質受容体欠損を網羅的に探索し、リポクオリティ-疾患連関を介在する脂質受容体を同定するとともに、疾患発症に繋がる責任細胞を同定する。

④リポクオリティによる疾患発症の分子機構の解析: ③で同定した疾患発症に繋がる責任細胞において、野生型-受容体欠損間で単一細胞トランスクリプトーム解析を行い、脂質メディエーターとその受容体による疾患発症の分子機構解明を目指した。受容体未同定の脂質についても、標的細胞に対し責任脂質候補を暴露し同様に解析する。

⑤ヒトにおける PLA₂-リポクオリティ-受容体-疾患相関の解析: ヒト血液試料や皮膚組織を解析し、脂質関連遺伝子多型-リポクオリティ-疾患パラメーターの相関を包括的に解析する。

これら①~⑤の解析を通じて、リポクオリティ-受容体-疾患の連関を明らかにするとともに、疾患発症におけるリポクオリティの生物学的意義の理解を目指す。

4. 研究成果

4-1. PG 受容体によるリポクオリティ認識の構造生物学的基盤

ヒト EP4 受容体の細胞外ドメインの立体構造を認識し PGE₂ 結合を阻害する単クローン抗体を「結晶化リガンド」として用い、ヒト EP4 受容体-EP4 拮抗剤-抗体複合体を結晶化し、立体構造を解明した。その結果、EP4 受容体は、結合ポケットの細胞外側に蓋をされ、細胞膜側に開口した小孔から PG がアクセスすること、EP4 拮抗剤のカルボン酸がリガンドアクセス孔の Arg 残基に直接結合すること、PG の ω 鎖末端は受容体の最深部に入り込み、 $\omega 3$ 位二重結合が直接認識されることを見出した。また一方、EP2 受容体の細胞内第 2 ループ中央に存在する芳香族アミノ酸は、Gs タンパク質と直接相互作用・活性化すること、その相互作用に芳香族側鎖の特性が重要な役割を果たすことを示した。

4-2. ゼブラフィッシュ PG 受容体の機能とリポクオリティ認識

ゼブラフィッシュにおいて、フェロモンとして働く $\text{PGF}_{2\alpha}$ を嗅覚受容体 OR114-1/2 が認識し、雄の誘引を引き起こす責任受容体であることを見出した。本嗅覚受容体は $\text{PGF}_{2\alpha}$ を認識するが、 $\text{PGF}_{3\alpha}$ を認識せず、リポクオリティを認識していた。一方、EP3 受容体経路はリンパ管発生に必須の役割を果たすことを見出した。

4-3. マウス PG 受容体の病態機能とリポクオリティ認識

特定のマウス PG 受容体が $\omega 3/\omega 6$ 系 PG の違いを認識し、細胞内シグナルの活性化効率を異にすること、またこうした PG 受容体シグナルが心筋リプログラミング制御や腸内細菌代謝脂質による消化管運動や肝がん発症に関わることを見出した。

4-4. マウス PG 受容体の生理機能とリポクオリティ認識

着床時の胚-上皮相互作用におけるオートタキシン-LPA-LPA3 受容体経路が脱落膜化経路の遂行に不可欠の役割を果たすこと、またこの際、特定 PG 受容体シグナルを必要とすることを見出した。さらに、高 $\omega 3$ 脂肪酸含有食は、PG の関わる受精や着床・分娩等の雌性生殖プロセスには影響しないが、母性行動の発現に影響する可能性を発見した。

4-5. 脂肪組織における PLA_2/PG 受容体の機能とリポクオリティ

脂肪組織に常在する M2 マクロファージに発現する $\text{PLA}_2\text{G}_2\text{D}$ が、 $\omega 3$ 脂肪酸を特異的に切り出し、脂肪の燃焼を促すことで肥満を抑えることを見出した。一方、脂肪分解酵素(ATGL, $\text{PNPLA}_2/\text{iPLA}_2\zeta$; TG リパーゼ) がアラキドン酸を供給し $\text{COX-1}/\text{mPGES1}$ 経路を介して PGE_2 を産生すること、脂肪細胞の PGE_2 -EP4 受容体は、 cAMP/PKA 経路を介してインスリンシグナルに拮抗し、ATGL 発現亢進、HSL リン酸化亢進、G0s2 発現抑制を介して摂食に伴う基礎的脂肪分解を促すこと、 PGE_2 -EP4 受容体はまた、PKA 非依存性の $\text{PI3K}/\text{ERK}$ 経路を介して脂肪細胞の Col6a3 発現を亢進させ、脂肪組織の線維化を促進すること、ヒトでも本 EP4 受容体経路が機能し、脂肪分解亢進と脂肪肝発症を促す可能性を見出した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計107件（うち査読付論文 61件/うち国際共著 19件/うちオープンアクセス 45件）

1. 著者名 Iwasaki R, Tsuge K, Kishimoto K, Hayashi Y, Iwaana T, Hohjoh H, Inazumi T, Kawahara A, Tsuchiya S, Sugimoto Y.	4. 巻 9
2. 論文標題 Essential role of prostaglandin E2 and the EP3 receptor in lymphatic vessel development during zebrafish embryogenesis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 7650
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s41598-019-44095-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Sakurai K, Dainichi T, Garcet S, Tsuchiya S, Yamamoto Y, Kitoh A, Honda T, Nomura T, Egawa G, Otsuka A, Nakajima S, Matsumoto R, Nakano Y, Otsuka M, Iwakura Y, Grinberg-Bleyer Y, Ghosh S, Sugimoto Y, Guttman-Yassky E, Krueger JG, Kabashima K.	4. 巻 144
2. 論文標題 Cutaneous p38 MAPK 1 activation triggers psoriatic dermatitis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 1036-1049
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.jaci.2019.06.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Miyamoto J, Igarashi M, Watanabe K, Karaki S, Mukouyama H, Kishino S, Li X, Ichimura A, Irie J, Sugimoto Y, Mizutani T, Sugawara T, Miki T, Ogawa J, Drucker D, Arita M, Itoh H, and Kimura I.	4. 巻 10
2. 論文標題 Gut microbiota confers host resistance to obesity by metabolizing dietary polyunsaturated fatty acids	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 4007
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s41467-019-11978-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 Yoshida M, Takayanagi Y, Ichino-Yamashita A, Sato K, Sugimoto Y, Kimura T, and Nishimori K.	4. 巻 160
2. 論文標題 Functional hierarchy of uterotonics required for successful parturition in mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Endocrinology	6. 最初と最後の頁 2800-2810
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1210/en.2019-00499	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishihara E, Nagaoka Y, Okuno T, Ishigami-Yuasa M, Kagechika H, Terai S, Yokomizo T, Sugimoto Y, Fujita Y, Suzuki A, and Nishina H.	4. 巻 25
2. 論文標題 Prostaglandin E2 and its receptor EP2 trigger signaling that contributes to YAP-mediated cell competition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Genes to Cells	6. 最初と最後の頁 197-214
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12750	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Razali N, Hohjoh H, Inazumi T, Maharjan BD, Nakagawa K, Konishi M, Sugimoto Y, and Hasegawa, H.	4. 巻 43
2. 論文標題 Induced prostanoid synthesis regulates the balance between Th1- and Th2-producing inflammatory cytokines in the thymus of diet-restricted mice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biological and Pharmaceutical Bulletin	6. 最初と最後の頁 649-662
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b19-00838	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Y, Taniguchi T, Inazumi T, Iwamura R, Yoneda K, Odani-Kawabata N, Matsugi T, Sugimoto Y, and Shams NK.	4. 巻 36
2. 論文標題 Effects of the selective EP2 receptor agonist omidenepag on adipocyte differentiation in 3T3-L1 cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Ocular Pharmacology and Therapeutics	6. 最初と最後の頁 162-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/jop.2019.0079	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Imafuku T, Watanabe H, Satoh T, Matsuzaka T, Inazumi T, Kato H, Tanaka S, Nakamura Y, Nakano T, Tokumaru K, Maeda H, Tanaka M, Matsushita K, Tsuchiya S, Sugimoto Y, Shimano, H, Fukagawa M, and Maruyama T.	4. 巻 1
2. 論文標題 Advanced oxidation protein products contribute to renal tubulopathy via perturbation of renal fatty acids	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Kidney360	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34067/KID.0000772019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toda K, Tsukayama I, Nagasaki Y, Yuka K, Tamenobu A, Ganeko N, Ito H, Kawakami Y, Takahashi Y, Miki Y, Yamamoto K, Murakami M, and Yamamoto T.	4. 巻 26
2. 論文標題 Red-kerneled rice proanthocyanidin inhibits arachidonate 5-lipoxygenase and decreases psoriasis-like skin inflammation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Arch Biochem Biophys	6. 最初と最後の頁 108307
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.abb.2020.108307	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori A, Hatano T, Inoshita T, Shiba-Fukushima K, Koinuma T, Meng H, Kubo SI, Spratt S, Cui C, Yamashita C, Miki Y, Yamamoto K, Hirabayashi T, Murakami M, Takahashi Y, Shindou H, Nonaka T, Hasegawa M, Okuzumi A, Imai Y, Hattori N.	4. 巻 116
2. 論文標題 Parkinson 's disease-associated iPLA2-VIA/PLA2G6 regulates neuronal functions and a-synuclein stability through membrane remodeling	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	6. 最初と最後の頁 20689-20699
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1902958116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jin F, Li X, Deng Y, Timilshina M, Huang B, Kim DY, Chang JH, Ichinose H, Baek SH, Murakami M, Lee YJ, Chang HW.	4. 巻 74
2. 論文標題 The orphan nuclear receptor NR4A1 promotes Fc RI-stimulated mast cell activation and anaphylaxis by counteracting the inhibitory LKB1/AMPK axis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Allergy	6. 最初と最後の頁 1145-1156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/all.13702	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato H, Taketomi Y, Miki Y, Murase R, Yamamoto K, and Murakami M.	4. 巻 31
2. 論文標題 Secreted phospholipase PLA2G2D contributes to metabolic health by mobilizing omega-3 polyunsaturated fatty acids in white adipose tissue	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 107579
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2020.107579	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 稲住知明, 杉本幸彦	4. 巻 269 (1)
2. 論文標題 シクロオキシゲナーゼ経路によるリポクオリティ認識	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 1002-1007
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲住知明, 杉本幸彦	4. 巻 73 (13)
2. 論文標題 プロスタグランジンD2レセプターのシグナル伝達	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科	6. 最初と最後の頁 58-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤弘泰, 村上誠	4. 巻 30 (2)
2. 論文標題 脂質メディエーターとイムノメタボリズム	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Lipid	6. 最初と最後の頁 61-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上誠	4. 巻 37 (7)
2. 論文標題 脂質メディエーターが繋ぐ臓器連関と動的恒常性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 149-155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武富芳隆、村上誠	4. 巻 37 (10)
2. 論文標題 脂質メディエーターとアレルギー	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 88-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上誠	4. 巻 269 (13)
2. 論文標題 ホスホリパーゼA2 による代謝と疾患の制御	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 1024-1028
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋中雄太、村上誠	4. 巻 270 (5)
2. 論文標題 リビドミクスから見えてきた酸化脂肪酸によるマスト細胞の制御機構	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 401-407
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuge K, Inazumi T, Shimamoto A, Sugimoto Y.	4. 巻 31
2. 論文標題 Molecular mechanisms underlying prostaglandin E2-exacerbated inflammation and immune diseases.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int Immunol	6. 最初と最後の頁 597-606
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxz021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Muraoka N, Nara K, Tamura F, Kojima H, Yamakawa H, Sadahiro T, Miyamoto K, Isomi M, Haginiwa S, Tani H, Kurotsu S, Osakabe R, Torii S, Shimizu S, Okano H, Sugimoto Y, Fukuda K, Ieda M.	4. 巻 10
2. 論文標題 Role of cyclooxygenase-2/prostaglandin E2/prostaglandin E receptor 4 signaling in cardiac reprogramming.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 674
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-08626-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kitadate Y, J_rg DJ, Tokue M, Maruyama A, Ichikawa R, Tsuchiya S, Segi-Nishida E, Nakagawa T, Uchida A, Kimura-Yoshida C, Mizuno S, Sugiyama F, Azami T, Ema M, Noda C, Kobayashi S, Matsuo I, Kanai Y, Nagasawa T, Sugimoto Y, Takahashi S, Simons BD, Yoshida S.	4. 巻 24
2. 論文標題 Competition for mitogens regulates spermatogenic stem cell homeostasis in an open niche.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cell Stem Cell.	6. 最初と最後の頁 79-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.stem.2018.11.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Toyoda Y, Morimoto K, Suno R, Horita S, Yamashita K, Hirata K, Sekiguchi Y, Yasuda S, Shiroishi M, Shimizu T, Inazumi, T., Tsuge K, Yoshida S, Sugimoto Y, Nomura N, Sato M, Hirokawa T, Kinoshita, M., Murata T, Takayama K, Yamamoto M, Narumiya S, Iwata S, Kobayashi T.	4. 巻 15
2. 論文標題 Ligand binding to human prostaglandin E receptor EP4 at the lipid-bilayer interface.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat Chem Biol	6. 最初と最後の頁 18-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41589-018-0131-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsumoto R, Dainichi T, Tsuchiya S, Nomura T, Kitoh A, Hayden MS, Ishii KJ, Tanaka M, Honda T, Egawa G, Otsuka A, Nakajima S, Sakurai K, Nakano Y, Kobayashi T, Sugimoto Y, Kabashima K.	4. 巻 3
2. 論文標題 Epithelial TRAF6 drives IL-17-mediated psoriatic inflammation.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 JCI Insight.	6. 最初と最後の頁 e121175
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.121175	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsukayama I, Toda K, Takeda Y, Mega T, Tanaka M, Kawakami Y, Takahashi Y, Kimoto M, Yamamoto K, Miki Y, Murakami M, Suzuki-Yamamoto T.	4. 巻 62
2. 論文標題 Preventive effect of <i>Dioscorea japonica</i> on squamous cell carcinoma of mouse skin involving down-regulation of prostaglandin E₂ synthetic pathway	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Clin Biochem Nutr	6. 最初と最後の頁 139-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3164/jcbrn.17-54	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murakami M, Yamamoto K, Taketomi Y.	4. 巻 38
2. 論文標題 Phospholipase A2 in skin biology: new insights from gene-manipulated mice and lipidomics.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Inflamm Regen	6. 最初と最後の頁 31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s41232-018-0089-2.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murakami M.	4. 巻 1864
2. 論文標題 Novel functions of Phospholipase A2s: Overview.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochim Biophys Acta Mol Cell Biol Lipids	6. 最初と最後の頁 763-765
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbalip.2019.02.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murakami M, Miki Y, Sato H, Murase R, Taketomi Y, Yamamoto K.	4. 巻 1864
2. 論文標題 Group IID, IIE, IIF and III secreted phospholipase A2s.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochim Biophys Acta Mol Cell Biol Lipids	6. 最初と最後の頁 803-818
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbalip.2018.08.014.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirabayashi T, Murakami M, Kihara A.	4. 巻 1864
2. 論文標題 The role of PNPLA1 in w-0-acylceramide synthesis and skin barrier function.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochim Biophys Acta Mol Cell Biol Lipids	6. 最初と最後の頁 869-879
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbalip.2018.09.010.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 稲住知明, 杉本幸彦	4. 巻 50
2. 論文標題 プロスタグランジンE2による炎症病態制御機構	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 細胞	6. 最初と最後の頁 118-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 土屋創健, 杉本幸彦.	4. 巻 36
2. 論文標題 リボクオリティの違いに基づくプロスタノイドのがん疾患制御	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 1675-1680
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲住知明, 杉本幸彦.	4. 巻 70
2. 論文標題 プロスタグランジンE2による炎症, 免疫調節機構.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科.	6. 最初と最後の頁 216-220
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 土屋創健, 杉本幸彦	4. 巻 26
2. 論文標題 プロスタノイド受容体を介した免疫・炎症応答亢進機構.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 炎症と免疫.	6. 最初と最後の頁 375-379
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上誠	4. 巻 -
2. 論文標題 ホスホリパーゼA2と代謝性疾患	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 糖尿病学2018	6. 最初と最後の頁 56-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上誠, 佐藤弘泰, 武富芳隆, 平林哲也	4. 巻 36
2. 論文標題 ホスホリパーゼA2ファミリーによるリボクオリティ制御	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学増刊	6. 最初と最後の頁 53-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上誠, 木原章雄	4. 巻 36
2. 論文標題 脂質による皮膚バリア形成と疾患制御	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学増刊	6. 最初と最後の頁 1730-1737
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上誠, 武富芳隆	4. 巻 265
2. 論文標題 脂質によるマスト細胞の制御とアレルギー	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 773-778
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上誠	4. 巻 90
2. 論文標題 ホスホリパーゼA2ファミリーの多様性と生命応答における役割	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生化学	6. 最初と最後の頁 348-360
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上誠	4. 巻 26
2. 論文標題 sPLA2と炎症・免疫	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 炎症と免疫	6. 最初と最後の頁 362-367
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上誠	4. 巻 70
2. 論文標題 ホスホリパーゼA2群による免疫制御	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科	6. 最初と最後の頁 193-199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aikawa Shizu, Kano Kuniyuki, Inoue Asuka, Wang Jiao, Saigusa Daisuke, Nagamatsu Takeshi, Hirota Yasushi, Fujii Tomoyuki, Tsuchiya Soken, Taketomi Yoshitaka, Sugimoto Yukihiko, Murakami Makoto, Arita Makoto, Kurano Makoto, Ikeda Hitoshi, Yatomi Yutaka, Chun Jerold, Aoki Junken	4. 巻 36
2. 論文標題 Autotaxin-lysophosphatidic acid-LPA3 signaling at the embryo epithelial boundary controls decidualization pathways	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The EMBO Journal	6. 最初と最後の頁 2146 ~ 2160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embj.201696290	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yano Akiko, Takahashi Yuko, Moriguchi Hiromi, Inazumi Tomoaki, Koga Tomoaki, Otaka Akira, Sugimoto Yukihiko	4. 巻 1862
2. 論文標題 An aromatic amino acid within intracellular loop 2 of the prostaglandin EP2 receptor is a prerequisite for selective association and activation of G _s	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochimica et Biophysica Acta (BBA) - Molecular and Cell Biology of Lipids	6. 最初と最後の頁 615 ~ 622
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbalip.2017.03.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Loo Tze Mun, Kamachi Fumitaka, Watanabe Yoshihiro, Yoshimoto Shin, Kanda Hiroaki, Arai Yuriko, Nakajima-Takagi Yaeko, Iwama Atsushi, Koga Tomoaki, Sugimoto Yukihiko, Ohtani Naoko et al.	4. 巻 7
2. 論文標題 Gut Microbiota Promotes Obesity-Associated Liver Cancer through PGE2-Mediated Suppression of Antitumor Immunity	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Discovery	6. 最初と最後の頁 522 ~ 538
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2159-8290.CD-16-0932	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirabayashi Tetsuya, Anjo Tatsuki, Kaneko Arisa, Senoo Yuuya, Shibata Akitaka, Takama Hiroyuki, Yokoyama Kohei, Nishito Yasumasa, Ono Tomio, Taya Choji, Muramatsu Kazuaki, Fukami Kiyoko, Munoz-Garcia A., Brash Alan R., Ikeda Kazutaka, Arita Makoto, Akiyama Masashi, Murakami Makoto	4. 巻 8
2. 論文標題 PNPLA1 has a crucial role in skin barrier function by directing acylceramide biosynthesis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 14609 ~ 14609
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms14609	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Irie Atsushi, Yamamoto Kei, Miki Yoshimi, Murakami Makoto	4. 巻 7
2. 論文標題 Phosphatidylethanolamine dynamics are required for osteoclast fusion	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 46715 ~ 46715
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep46715	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murase Remi, Taketomi Yoshitaka, Miki Yoshimi, Nishito Yasumasa, Saito Moe, Fukami Kiyoko, Yamamoto Kei, Murakami Makoto	4. 巻 7
2. 論文標題 Group III phospholipase A2 promotes colitis and colorectal cancer	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 12261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-12434-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Makoto Murakami	4. 巻 93
2. 論文標題 Lipoquality control by the phospholipase A2 family.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proc. Jpn. Acad. Ser. B.	6. 最初と最後の頁 677-702
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2183/pjab.93.043	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimanaka Yuta, Kono Nozomu, Taketomi Yoshitaka, Arita Makoto, Okayama Yoshimichi, Tanaka Yuki, Nishito Yasumasa, Mochizuki Tatsuki, Kusuhara Hiroyuki, Adibekian Alexander, Cravatt Benjamin F, Murakami Makoto, Arai Hiroyuki	4. 巻 23
2. 論文標題 Omega-3 fatty acid epoxides are autocrine mediators that control the magnitude of IgE-mediated mast cell activation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Medicine	6. 最初と最後の頁 1287-1297
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nm.4417	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 土屋創健、杉本幸彦	4. 巻 89
2. 論文標題 ゼブラフィッシュにおけるプロスタグランジンシステム	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生化学	6. 最初と最後の頁 445
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉本幸彦	4. 巻 6
2. 論文標題 雌性生殖生理におけるプロスタグランジン受容体の役割	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 別冊B10 Clinica 慢性炎症と疾患	6. 最初と最後の頁 16-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲住知明、杉本幸彦	4. 巻 50
2. 論文標題 プロスタグランジンE2による炎症病態制御機構	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 細胞	6. 最初と最後の頁 118-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武富芳隆、村上誠	4. 巻 22
2. 論文標題 脂質代謝と喘息	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 分子呼吸器病	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武富芳隆、村上誠	4. 巻 25
2. 論文標題 PLA2とアレルギー	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アレルギー・免疫	6. 最初と最後の頁 44-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武富芳隆、村上誠	4. 巻 264
2. 論文標題 分泌性ホスホリパーゼA2と炎症性疾患	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 137-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平林哲也、村上誠	4. 巻 8
2. 論文標題 皮膚バリア機能とアシルセラミド合成酵素	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 BIO INDUSTRY	6. 最初と最後の頁 9-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上誠、三木寿美、山本圭	4. 巻 25
2. 論文標題 リン脂質代謝酵素によるリポクオリティ制御と炎症・免疫	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 炎症と免疫	6. 最初と最後の頁 28-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武富芳隆、村上誠	4. 巻 137
2. 論文標題 脂質を基軸とした免疫調節	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 薬学雑誌	6. 最初と最後の頁 503-515
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武富芳隆、村上誠	4. 巻 37
2. 論文標題 生理活性脂質による自然免疫・アレルギーの制御	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アレルギーの臨床	6. 最初と最後の頁 58-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuchiya H, Hohjoh H, Fujiwara Y, Sugimoto Y, Koshimizu T	4. 巻 470
2. 論文標題 Prostaglandin D2 elicits the reversible neurite retraction in hypothalamic cell line	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 804-810
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2016.01.091	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yabuki Y, Koide T, Miyasaka N, Wakisaka N, Masuda M, Ohkura M, Nakai J, Tsuge K, Tsuchiya S, Sugimoto Y, Yoshihara Y	4. 巻 19
2. 論文標題 Olfactory receptor for prostaglandin F2 mediates male fish courtship behavior	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nature Neurosci	6. 最初と最後の頁 897-904
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nn.4314	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murase R, Sato H, Yamamoto K, Ushida A, Nishito Y, Ikeda K, Kobayashi T, Yamamoto T, Taketomi Y, Murakami M	4. 巻 291(13)
2. 論文標題 Group X Secreted Phospholipase A2 Releases 3 Polyunsaturated Fatty Acids, Suppresses Colitis, and Promotes Sperm Fertility	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 6895-911
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M116.715672	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miki Y, Kidoguchi Y, Sato M, Taketomi Y, Taya C, Muramatsu K, Gelb MH, Yamamoto K, Murakami M	4. 巻 291(30)
2. 論文標題 Dual Roles of Group IID Phospholipase A2 in Inflammation and Cancer	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 15588-601
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M116.734624	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato H, Taketomi Y, and Murakami M.	4. 巻 36
2. 論文標題 Metabolic regulation by secreted phospholipase A2	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Inflamm. Regener	6. 最初と最後の頁 7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s41232-016-0012-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto K, Miki Y, Sato H, Nishito Y, Gelb MH, Taketomi Y, Murakami M	4. 巻 291(30)
2. 論文標題 Expression and Function of Group IIE Phospholipase A2 in Mouse Skin	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 15602-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M116.734657	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Murakami M, Yamamoto K, Miki Y, Murase R, Sato H, Taketomi Y	4. 巻 132
2. 論文標題 The Roles of the Secreted Phospholipase A2 Gene Family in Immunology	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Adv Immunol	6. 最初と最後の頁 91-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/bs.ai.2016.05.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto K, Miki Y, Sato H, Murase R, Taketomi Y, Murakami M	4. 巻 583
2. 論文標題 Secreted Phospholipase A2 Specificity on Natural Membrane Phospholipids	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Methods Enzymol	6. 最初と最後の頁 101-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/bs.mie.2016.09.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 村上誠	4. 巻 71(2)
2. 論文標題 細胞膜のリン脂質二重膜から局所ホルモンが産み出される仕組み	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 生物の科学・遺伝	6. 最初と最後の頁 163-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上誠	4. 巻 74(5)
2. 論文標題 新たな創薬標的の発見を目指した脂質研究の最前線	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 バイオサイエンスとインダストリー	6. 最初と最後の頁 388-395
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武富芳隆, 村上誠	4. 巻 14(2)
2. 論文標題 肥満細胞と脂質メディエーター	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 皮膚アレルギーフロンティア	6. 最初と最後の頁 19-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上誠, 三木寿美, 山本圭, 武富芳隆	4. 巻 65
2. 論文標題 分泌性ホスホリパーゼA2とアレルギー疾患	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科	6. 最初と最後の頁 563-568
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤弘泰, 村上誠	4. 巻 Annual Review 2016
2. 論文標題 ホスホリパーゼA2と肥満	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 糖尿病・代謝・内分泌	6. 最初と最後の頁 94-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 告恭史郎, 稲住知明, 杉本幸彦	4. 巻 17(2)
2. 論文標題 プロスタノイドクオリティと心血管系制御」血管医学	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 血管医学	6. 最初と最後の頁 37-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 告恭史郎、杉本幸彦	4. 巻 256(5)
2. 論文標題 プロスタノイド受容体を介した免疫・炎症応答亢進の分子機構	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 561-566
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugimoto Y, Inazumi T, Tsuchiya S	4. 巻 157
2. 論文標題 Roles of prostaglandin receptors in female reproduction	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Biochem	6. 最初と最後の頁 73-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvu081	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawahara K, Hohjoh H, Inazumi T, Tsuchiya S, Sugimoto Y	4. 巻 1851
2. 論文標題 Prostaglandin E2-induced inflammation: relevance of prostaglandin E receptors	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Biochim Biophys Acta	6. 最初と最後の頁 414-421
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbailip.2014.07.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakamizo S, Egawa G, Tomura M, Sakai S, Tsuchiya S, Kitoh A, Honda T, Otsuka A, Nakajima S, Dainichi T, Tanizaki H, Mitsuyama M, Sugimoto Y, Kawai K, Yoshikai Y, Miyachi Y, Kabashima K	4. 巻 135
2. 論文標題 Dermal V 4+ T cells possess a migratory potency to the draining lymph nodes and modulate CD8+ T cell activity through TNF- production	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Invest Dermatol	6. 最初と最後の頁 1007-1015
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/jid.2014.516	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inada M, Takita M, Yokoyama S, Watanabe K, Tominari T, Matsumoto C, Hirata M, Maru Y, Maruyama T, Sugimoto Y, Narumiya S, Uematsu S, Akira S, Murphy G, Nagase H, Miyaura C	4. 巻 290
2. 論文標題 Direct melanoma cell contact induces stromal cell autocrine prostaglandin E2-EP4 receptor signaling that drives tumor growth, angiogenesis and metastasis	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 29781-29793
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M115.669481	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murakami M, and Taketomi Y.	4. 巻 64
2. 論文標題 Secreted phospholipase A2s and mast cells	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Allergology Int.	6. 最初と最後の頁 4-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.alit.2014.07.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murakami M, Sato H, Miki Y, Yamamoto K, Taketomi Y	4. 巻 56
2. 論文標題 A new era of secreted phospholipase A2	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Lipid Res	6. 最初と最後の頁 1248-1261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1194/jlr.R058123	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miyazaki T, Taketomi Y, Saito Y, Hosono T, Lei XF, Kim-Kaneyama JR, Arata S, Takahashi H, Murakami M, Miyazaki A	4. 巻 116
2. 論文標題 Calpastatin counteracts pathological angiogenesis by inhibiting suppressor of cytokine signaling 3 degradation in vascular endothelial cells	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Circ Res	6. 最初と最後の頁 1170-1181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/CIRCRESAHA.116.305363	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Berry E, Hernandez-Anzaldo S, Ghomashchi F, Lehner R, Murakami M, Gelb MH, Kassiri Z, Wang X, Fernandez-Patron C	4. 巻 4
2. 論文標題 Matrix metalloproteinase-2 negatively regulates cardiac secreted phospholipase A2 to modulate inflammation and fever	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Am Heart Assoc	6. 最初と最後の頁 e001868
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/JAHA.115.001868	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Gijs HL, Willemarck N, Vanderhoydonc F, Khan NA, Dehairs J, Derua R, Waelkens E, Taketomi Y, Murakami M, Agostinis P, Annaert W, Swinnen JV	4. 巻 26
2. 論文標題 Primary cilium suppression by SREBP1c involves distortion of vesicular trafficking by PLA2G3	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Mol Biol Cell	6. 最初と最後の頁 2321-2332
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1091/mbc.E14-10-1472	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kazama S, Kitayama J, Hiyoshi M, Taketomi Y, Murakami M, Nishikawa T, Tanaka T, Tanaka J, Kiyomatsu T, Kawai K, Hata K, Yamaguchi H, Nozawa H, Ishihara S, Sunami E, Watanabe T	4. 巻 35
2. 論文標題 Phospholipase A2 group III and group X have opposing associations with prognosis in colorectal cancer	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Anticancer Res	6. 最初と最後の頁 2983-2990
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Vijay R, Gelb MH, Miki Y, Yamamoto K, Murakami M, Perlman S	4. 巻 212
2. 論文標題 Critical role for secreted Phospholipase A2 group IID in age-related susceptibility to infection with the severe acute respiratory syndrome coronavirus	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Exp Med	6. 最初と最後の頁 1851-1868
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20150632	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamamoto K, Miki Y, Sato M, Taketomi Y, Nishito Y, Taya C, Muramatsu K, Ikeda K, Nakanishi H, Taguchi R, Kambe N, Kabashima K, Lambeau G, Gelb MH, Murakami M	4. 巻 212
2. 論文標題 The role of group IIF secreted phospholipase A2 in epidermal homeostasis and hyperplasia	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Exp Med	6. 最初と最後の頁 1901-1919
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20141904	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Li X, Kwon O, Kim DY, Taketomi Y, Murakami M, Chang HW	4. 巻 71
2. 論文標題 NecroX-5 suppresses IgE/Ag-stimulated anaphylaxis and mast cell activation by regulating the SHP-1-Syk signaling module	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Allergy	6. 最初と最後の頁 198-209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/all.12786	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 杉本幸彦	4. 巻 63
2. 論文標題 プロスタグランジンによる皮膚マスト細胞の成熟と活性化	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科	6. 最初と最後の頁 62-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉本幸彦	4. 巻 145
2. 論文標題 プロスタグランジンによる神経機能の調節機構	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 日薬理誌	6. 最初と最後の頁 237-242
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩崎亮, 北條寛典, 杉本幸彦	4. 巻 47
2. 論文標題 炎症反応におけるプロスタグランジンE2の役割	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 細胞	6. 最初と最後の頁 266-269
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 告恭史郎, 杉本幸彦	4. 巻 33 (15)
2. 論文標題 プロスタグランジンによる女性生殖制御の意義	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 164-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉本幸彦	4. 巻 254 (12)
2. 論文標題 急性炎症にかかわるプロスタグランジンとその働き	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 1091-1096
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上 誠	4. 巻 41 (5)
2. 論文標題 PLA2メタボロームによる疾患脂質代謝マップの創成と生活習慣病解析	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 内分泌・糖尿病・代謝内科	6. 最初と最後の頁 361-369
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武富芳隆, 村上 誠	4. 巻 23 (6)
2. 論文標題 sPLA2と炎症	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 炎症と免疫	6. 最初と最後の頁 22-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久木山清貴, 村上 誠	4. 巻 33 (15)
2. 論文標題 ホスホリパーゼA2と循環器疾患	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 80-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平林哲也, 村上 誠	4. 巻 33 (15)
2. 論文標題 ホスホリパーゼA2と神経疾患	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 134-139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上 誠	4. 巻 30 (9)
2. 論文標題 ホスホリパーゼA2による代謝シグナル制御	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 BioClinica	6. 最初と最後の頁 33-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武富芳隆、村上 誠	4. 巻 63
2. 論文標題 アレルギーと脂質代謝	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科	6. 最初と最後の頁 585-592
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上 誠	4. 巻 47 (6)
2. 論文標題 アレルギーを制御するsPLA2の役割	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 細胞	6. 最初と最後の頁 4-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計160件 (うち招待講演 60件 / うち国際学会 45件)

1. 発表者名 橋本美穂, 大窪喜丸, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 多価不飽和脂肪酸としての 3脂肪酸摂取が雌性生殖と母性行動に与える影響
3. 学会等名 日本薬学会第140年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 稲住知明, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジン受容体による脂質恒常性の調節機構
3. 学会等名 第93回日本薬理学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐々木諒也, 中尾優子, 村上里穂, 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンI2受容体によるマスト細胞の炎症応答の制御機構
3. 学会等名 第36回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大塚友絵, 稲住知明, 大窪喜丸, 馬驍彦, 杉本聡子, 土屋創健, 廣田泰, 竹尾透, 中瀧直己, 杉本幸彦
2. 発表標題 複数のプロスタグランジン受容体による着床調節機構
3. 学会等名 第36回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 前田ひかる, 大窪喜丸, 橋本美穂, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 子宮内膜症におけるプロスタグランジンE受容体の役割
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 橋本美穂, 大窪喜丸, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 食事由来 3脂肪酸含有食が雌性生殖と母性行動に与える影響
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 稲住知明, 大窪喜丸, 馬驍彦, 大塚友絵, 杉本聡子, 土屋創健, 竹尾透, 中瀧直己, 杉本幸彦
2. 発表標題 複数の受容体を介したプロスタグランジンの着床制御機構
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 前田ひかる, 大窪喜丸, 橋本美穂, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 子宮内膜症におけるプロスタグランジンE受容体機能の解析
3. 学会等名 第18回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 橋本美穂, 大窪喜丸, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 高 3脂肪酸含有食が母性行動に与える影響とその分子機構の解析
3. 学会等名 第18回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岩穴拓也, 告恭史郎, 岸本幸一郎, 岩崎亮, 稲住知明, 川原敦雄, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 ゼブラフィッシュ腎臓形成におけるプロスタグランジンの役割
3. 学会等名 第61回日本脂質生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名	Hashimoto M, Okubo K, Inazumi T, Sugimoto T, Tsuchiya S, Yamashita A, Suhara Y, Arita M, Sugimoto Y.
2. 発表標題	The effect of dietary omega-3 fatty acids on female reproduction and nursing behavior
3. 学会等名	60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	Inazumi T, Okubo K, Xiaoyen Ma, Otsuka T, Hirai Y, Sugimoto T, Tsuchiya S, Takeo T, Nakagata N, Sugimoto Y.
2. 発表標題	The role of multiple prostanoid receptors in embryo implantation and spacing
3. 学会等名	60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	Sugimoto Y.
2. 発表標題	Roles of prostaglandin EP4 receptor axis in adipocytes: relevance of LipoQuality
3. 学会等名	2nd International Conference on Lipoquality (招待講演) (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	原田沙夜可, 佐藤弘康, 武富芳隆, 曾我朋義, 相葉俊樹, 大迫誠一郎, 村上誠
2. 発表標題	リン脂質とエピゲノムを結ぶ新規脂質代謝酵素の解析
3. 学会等名	第23回日本栄養病態学会
4. 発表年	2020年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 リン脂質代謝異常と循環器疾患
3. 学会等名 第80回BLOOD VESSEL CLUB (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 平林哲也, 武市拓也, 笠原浩二, Alan R. Brash, 村上誠, 秋山真志
2. 発表標題 アシルセラミド代謝を介した皮膚バリア形成機構
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 PLA2ファミリーによる代謝調節
3. 学会等名 第92回日本生化学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 武富芳隆, 村上誠
2. 発表標題 ホスホリパーゼA2を起点としたリゾリン脂質経路とアレルギー
3. 学会等名 第92回日本生化学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長崎祐樹, 川井恵梨佳, 田中充樹, 戸田圭祐, 津嘉山泉, 川上祐生, 高橋吉孝, 岡崎愉加, 三木寿美, 山本圭, 村上誠, 山本登志子
2. 発表標題 ヒトとウシの乳汁中脂質プロファイル解析
3. 学会等名 第92回日本生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 望月茅可, 高宮里奈, 杉本奈央, 三木寿美, 武富芳隆, 村上誠
2. 発表標題 乾癬におけるXIIA型ホスホリパーゼA2 (sPLA2-XIIA) の役割
3. 学会等名 第92回日本生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梁陸伊韻, 三木寿美, 平林哲也, 平家圭奈子, 小林哲幸, 山本圭, 武富芳隆, 高宮里奈, 村上誠
2. 発表標題 皮膚における新規細胞質型ホスホリパーゼA2 (cPLA2, cPLA2) の機能解析
3. 学会等名 第92回日本生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤弘泰, 武富芳隆, 三木寿美, 村上誠
2. 発表標題 脂肪細胞のベージュ化に関わる2種類のThermogenic sPLA2sの同定
3. 学会等名 第92回日本生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 原田沙夜可, 武富芳隆, 川口舞, 平林哲也, 大迫誠一郎, 村上誠
2. 発表標題 リゾホスホリパーゼPNPLA7はメチオニン欠乏により誘導されエピゲノム制御に関わる
3. 学会等名 フォーラム2019衛生薬学・環境トキシコロジー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 PLA2分子ファミリーによるリポクオリティ調節と疾患制御
3. 学会等名 第17回レドックス・ライフイノベーションシンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Murakami M.
2. 発表標題 Phospholipid metabolism and lipid mediators in health and diseases
3. 学会等名 Asia Pacific Society for Biology and Medical Sciences (APSBMS) 2019 Annual Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 sPLA2ファミリーと代謝疾患
3. 学会等名 第40回日本炎症・再生医学会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 PLA2と炎症・再生
3. 学会等名 第40回日本炎症・再生医学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 PLA2分子群と皮膚疾患
3. 学会等名 第61回日本脂質生化学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川口舞，平林哲也，笠原浩二，村上誠
2. 発表標題 PNPLA8、PNPLA7を介した内因性コリン産生経路は肝臓のメチル基供給に寄与する
3. 学会等名 第61回日本脂質生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本圭，箱井春香，三木寿美，村上誠
2. 発表標題 IIF型分泌性ホスホリパーゼA2/リゾプラスマローゲン経路は表皮肥厚性疾患の新規創薬ターゲットである
3. 学会等名 第61回日本脂質生化学会
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Takagi K, Taketomi Y, Tanoue A, Matsuyama T, Sakaue K, Machida K, Murakami M, Inoue H.
2 . 発表標題 PLA2G3-driven lysophospholipid pathway protects against allergic asthma
3 . 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Harada S, Taketomi Y, Kawaguchi M, Hirabayashi T, Murakami M.
2 . 発表標題 The lysophospholipase PNPLA7 is induced by methionine depletion and is linked to epigenetic regulation
3 . 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Kawaguchi M, Hirabayashi T, Murakami M.
2 . 発表標題 Phosphatidylcholine catabolism mediated by PNPLA8 and PNPLA7 has an important role in supplying methyl groups in the liver
3 . 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Liang L, Heike K, Kobayashi T, Hirabayashi T, Miki Y, Yamamoto K, Taketomi Y, Murakami M.
2 . 発表標題 Group IVE phospholipase A2 (cPLA2) mobilizes the non-canonical lipid mediator N-acyl ethanolamine in mouse skin
3 . 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Miki Y, Taketomi Y, Yamamoto K, Hosomi K, Kunisawa J, Siddabasave GB, Ikeda K, Arita M, Murakami M.
2. 発表標題 Group IIA phospholipase A2 regulates gut microbiome
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Murase R, Taketomi Y, Miki Y, Yamamoto K, Murakami M.
2. 発表標題 Distinct Roles of phospholipase A2s in colitis and colonic cancer
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sato H, Taketomi Y, Miki Y, Yamamoto K, Makoto Murakami
2. 発表標題 Group IID phospholipase A2 promotes browning of white adipose tissue and limits diet-induced obesity
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Taketomi Y, Miyazaki T, Sato H, Miki Y, Murakami M.
2. 発表標題 Group III phospholipase A2 promotes atherosclerosis
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kudou K, Miki Y, Higuchi H, Yamamoto K, Murakami M, Kotani A.
2. 発表標題 Exosome could be the source of lipid mediator in cancer platform
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL)60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toda K, Nagasaki Y, Tsukayama I, Tamenobu A, Konoike Y, Ganeko N, Ito H, Kawakami Y, Takahashi Y, Miki Y, Yamamoto K, Murakami M, Suzuki-Yamamoto T.
2. 発表標題 Inhibition of arachidonate 5-lipoxygenase and improvement in psoriasis by red rice proanthocyanidin
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamamoto K, Hakoi H, Miki Y, Murakami M.
2. 発表標題 Group IIF phospholipase A2/lysoplasmalogen axis is a novel drug target for epidermal-hyperplastic disease
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Murakami M.
2. 発表標題 LipoQuality regulation by the phospholipase A2 family
3. 学会等名 2nd International Conference on Lipoquality (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 脂質とアレルギー疾患
3. 学会等名 第68回日本アレルギー学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川口舞, 平林哲也, 村上誠
2. 発表標題 Identification of a novel metabolic pathway that links phospholipids to methionine metabolism
3. 学会等名 第19回東京大学生命科学シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタノイドクオリティによる生体制御
3. 学会等名 第60回日本脂質生化学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上里穂, 中尾優子, 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 稲住知明, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦,
2. 発表標題 マスト細胞炎症性応答に対するプロスタサイクリンIP受容体の役割
3. 学会等名 第60回日本脂質生化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中尾優子, 村上里穂, 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 稲住知明, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 マスト細胞のIL-33誘導性サイトカイン産生に対するPGI2-IP受容体シグナルの抑制機構
3. 学会等名 平成30年度日本生化学会九州支部例会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yukihiko Sugimoto
2. 発表標題 Stimulation and modulation of inflammatory mast cell responses by prostaglandin receptors
3. 学会等名 18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上里穂, 中尾優子, 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 稲住知明, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 マスト細胞炎症性応答におけるプロスタサイクリンIP受容体の役割
3. 学会等名 第17回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yukihiko Sugimoto
2. 発表標題 Stimulation and modulation of inflammatory mast cell responses by prostaglandin receptors
3. 学会等名 7th European Workshop on Lipid Mediators (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 初期発生におけるプロスタグランジンの役割,
3. 学会等名 第91回日本生化学会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 稲住知明, 山田清隆, 土屋創健, 猿渡淳二, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンEP4受容体は生理的な脂肪細胞機能を調節する
3. 学会等名 第91回日本生化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンとその受容体による脂質代謝の恒常性調節
3. 学会等名 第40回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 稲住知明, 山田清隆, 土屋創健, 猿渡淳二, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンEP4受容体による脂肪細胞機能の調節機構
3. 学会等名 第40回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前田ひかる, 大窪喜丸, 橋本美穂, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 子宮内膜症に關与するプロスタグランジンE受容体の解析
3. 学会等名 第40回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 衛藤勝喜, 北條寛典, 吉岡美樹, 土屋裕義, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦.
2. 発表標題 マウス視索前野神経の突起伸長に対するプロスタグランジンE2-EP4受容体の役割
3. 学会等名 第35回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中尾優子, 村上里穂, 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 稲住知明, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジン I2は、マスト細胞の障害性炎症応答を抑制する
3. 学会等名 日本薬学会第139年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 坂本理紗, 稲住知明, 藤原拓司, 河野佑子, 土屋創健, 杉本幸彦,
2. 発表標題 胎盤形成期におけるプロスタグランジンの機能解析
3. 学会等名 日本薬学会第139年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 武富芳隆, 佐藤弘泰, 宮崎拓郎, 三木寿美, 山崎文義, 瀬藤光利, 村上誠
2. 発表標題 III型分泌性ホスホリパーゼA2は動脈硬化の新規増悪因子である腸管恒常性維持機構の解析
3. 学会等名 第60回日本脂質生化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤弘泰, 武富芳隆, 三木寿美, 村上誠
2. 発表標題 白色脂肪細胞のベージュ化に関わるThermogenic sPLA2の同定
3. 学会等名 第60回日本脂質生化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 嶋中雄太, 河野望, 村上誠, 新井洋由
2. 発表標題 細胞内II型PAFアセチルヒドロラーゼによる新規脂肪酸メディエーター産生機構
3. 学会等名 第60回日本脂質生化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Murakami M
2. 発表標題 Lipoquality control by the phospholipase A2 family in the skin
3. 学会等名 Tokyo 2018 Cell and Developmental Biology Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 リン脂質代謝酵素による炎症・再生の制御
3. 学会等名 第39回日本炎症再生医学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 細胞外リン脂質代謝酵素（sPLA2）と動脈硬化
3. 学会等名 第50回日本動脈硬化学会総会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 代謝調節におけるホスホリパーゼの役割
3. 学会等名 The 5th Diabetes Research Innovation Symposium,（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Murakami M
2. 発表標題 Long-lasting sPLA2 research with Mike Gelb
3. 学会等名 Gelb Research Symposium（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 脂質によるアレルギー制御の新機軸質代謝系の網羅的解析
3. 学会等名 城南サマーセミナー2018 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hirabayashi T, Murakami M
2. 発表標題 Phosphatidylcholine catabolism by PNPLA7 provides a source of hepatic methyl groups and controls energy homeostasis
3. 学会等名 The 59th International Conference on the Bioscience of Lipids (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shimanaka Y, Kono N, Murakami M, Arai H.
2. 発表標題 w3 Fatty acid epoxides are autocrine mediators that control the magnitude of IgE-mediated mast cell activation
3. 学会等名 The 59th International Conference on the Bioscience of Lipids, (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hirabayashi T, Murakami M
2. 発表標題 Phosphatidylcholine catabolism mediated by PNPLAs plays an important role in liver function and energy homeostasis
3. 学会等名 The 2nd Japan-Korea Lipid Joint Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 脂質によるアレルギー制御の新機軸
3. 学会等名 アレルギー・好酸球研究会2018 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 武富芳隆, 村上誠
2. 発表標題 ホスホリパーゼA2ファミリーによる健康と疾病の制御
3. 学会等名 第91回日本生化学会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三木寿美, 武富芳隆, 山本圭, 細見晃司, 國澤純, Siddabasavegowda Bommegowda, 有田誠, 村上誠
2. 発表標題 IIA型ホスホリパーゼA2は腸内細菌叢を制御する
3. 学会等名 第91回日本生化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川口舞, 平林哲也, 村上誠
2. 発表標題 PNPLA8とPNPLA7によるホスファチジルコリンの分解は肝臓のメチル基供給に重要である
3. 学会等名 第91回日本生化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 嶋中雄太, 河野望, 村上誠, 新井洋由
2. 発表標題 エボキシ化 3脂肪酸はIgE依存的なマスト細胞の活性化を制御するオートクリンメディエーターである
3. 学会等名 第91回日本生化学会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Murakami M
2. 発表標題 Phospholipid metabolism in healthy and maladaptive aging
3. 学会等名 The 2nd Stockholm-Tokyo Workshop (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 生命応答における脂質の新機能: リン脂質代謝酵素群の網羅的ノックアウトからわかったこと
3. 学会等名 千里ライフサイエンスセミナー (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 脂質代謝とアレルギー疾患
3. 学会等名 第5回総合アレルギー講習会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 PNPLAファミリーによる膜リン脂質分解経路の破綻は肝臓の機能異常を導く
3. 学会等名 第129回日本薬学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンEP4受容体による脂質代謝調節機構
3. 学会等名 第90回日本内分泌学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 旧くて新しいプロスタグランジンの生理機能
3. 学会等名 第41回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジン受容体による生理と病態の調節機構
3. 学会等名 第31回カロテノイド研究談話会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yukihiko Sugimoto
2. 発表標題 Prostaglandin E2 regulates physiological lipid storage status
3. 学会等名 15th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation, and Related Diseases (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yukihiko Sugimoto
2. 発表標題 Regulation of adipocyte functions by the prostaglandin EP4 receptor -Lipid regulates the lipid storage balance-
3. 学会等名 The 1st International Conference on Lipoquality (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 雌性生殖生理におけるプロスタグランジンの役割
3. 学会等名 2017年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 PLA2ファミリーによる皮膚のリポクオリティ制御
3. 学会等名 第42回日本医用マスペクトル学会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 脂質代謝酵素PLA2ファミリーによるリボクオリティ制御の新機軸
3. 学会等名 第55回日本生物物理学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makoto Murakami
2. 発表標題 New aspects of lipoquality control by the phospholipase A2 family
3. 学会等名 International Conference on Lipoquality（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makoto Murakami
2. 発表標題 Lipoquality control by the phospholipase A2 family in the skin.
3. 学会等名 The 15th International Conference on Bioactive Lipids in Inflammation, Cancer and Related Diseases.（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 村上誠，佐藤弘泰，武富芳隆
2. 発表標題 ホスホリパーゼA2分子群と生殖
3. 学会等名 2017年度生命科学系学会合同年次大会（ConBio2017）（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makoto Murakami
2. 発表標題 Updating the PLA2 knockout studies: immunity, metabolic diseases, and beyond.
3. 学会等名 Bioactive Lipids Conference. 2018 (BIPLIP2018) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 豊田洋輔, 森本和志, 寿野良二, 関口雄介, 山下恵太郎, 平田邦夫, 安田賢司, 白石充典, 堀田韻虹, 浅田秀基, 中根崇智, 椎村祐樹, 中北智哉, 稲住知明, 告恭史郎, 梶原佑太, 清水朋子, 漆畑祐司, 吉田 優, 栗原ともこ, 細谷孝充, 木下正弘, 杉本幸彦, 野村紀通, 村田武士, 高山喜好, 山本雅貴, 成宮 周, 岩田 想, 小林拓也
2. 発表標題 抗体を用いたプロスタグランジン受容体のX線結晶構造解析
3. 学会等名 第13回GPCR研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタノイドIP受容体によるマスト細胞の炎症性応答の抑制機構
3. 学会等名 日本生化学会九州支部例会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Sugimoto Y, Inazumi T, Tsuchiya S, Narumiya S
2. 発表標題 Roles of prostaglandin EP4 receptor in adipose tissue
3. 学会等名 The 7th International conference on phospholipase A2 and Lipid Mediators (PLM2016) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Murakami, M
2. 発表標題 Novel roles of the phospholipase A2 family in metabolic regulation
3. 学会等名 The 7th International Conference on Phospholipase A2 and Lipid Mediators(PLM2016) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yabuki Y, Koide T, Miyasaka N, Wakisaka N, Masuda M, Ohkura M, Nakai J, Tsuge K, Tsuchiya S, Sugimoto Y, Yoshihara Y
2. 発表標題 Olfactory receptor for prostaglandin F2a mediates courtship behavior of male zebrafish
3. 学会等名 第17回嗅覚・味覚国際シンポジウム (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大窪喜丸, 馬驍彦, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 竹尾透, 中瀧直己, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 着床時子宮におけるプロスタグランジン受容体の役割
3. 学会等名 第58回日本脂質生化学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩崎亮, 告恭史郎, 岸本幸一朗, 川原敦雄, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 ゼブラフィッシュ初期胚血管形成におけるプロスタノイドの役割
3. 学会等名 第15回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大窪喜丸, 馬驍彦, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 竹尾透, 中渦直己, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 着床時子宮におけるプロスタグランジン受容体の役割
3. 学会等名 第15回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 マスト細胞の炎症性応答に対するプロスタサイクリン受容体IPの役割
3. 学会等名 第15回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 「あぶら」に秘められた生命応答制御の新しい仕組み
3. 学会等名 フォーラム2016衛生薬学・環境トキシコロジー (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 sPLA2と慢性炎症
3. 学会等名 第89回日本生化学会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 北條寛典, 吉岡美樹, 平川昌樹, 土屋裕義, 土屋創健, 三隅将吾, 瀬木-西田恵里, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンE受容体による脳のオス化の分子機構
3. 学会等名 第89回日本生化学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岸本幸一朗, 告恭史郎, 岩崎亮, 川原敦雄, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 ゼブラフィッシュ初期発生におけるプロスタグランジンI2受容体IPの役割
3. 学会等名 第89回日本生化学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山田清隆, 稲住 知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンEP4受容体を介した脂質代謝調節機構
3. 学会等名 第89回日本生化学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Sugimoto Y
2. 発表標題 PGE2-EP3 receptor signaling induces inflammatory swelling by mast cell activation
3. 学会等名 PSK-PSJ joint-international symposium in 2016 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Murakami, M., Yamamoto, K
2. 発表標題 A unique plasmalogen pathway driven by secreted phospholipase A2 regulates skin homeostasis and disease
3. 学会等名 The 1st Plasmalogen Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岸本幸一朗, 告恭史郎, 岩崎亮, 川原敦雄, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 ゼブラフィッシュ初期発生におけるプロスタグランジンI2受容体IPの生理的意義の探索
3. 学会等名 第33回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 沼田さおり, 告恭史郎, 江口幸臣, 松永拓子, 北條寛典, 杉本聡子, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジン受容体のGタンパク質ならびに β -arrestinシグナル検出系の確立とバイアス型作動薬の探索
3. 学会等名 第33回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 橋本美穂, 大窪喜丸, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 高 3脂肪酸含有食が雌マウスの生殖生理・養育行動に与える影響
3. 学会等名 第33回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 村上里穂, 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 稲住知明, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタサイクリンIP受容体がマスト細胞炎症性応答に与える影響
3. 学会等名 第33回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 皮膚の恒常性と疾患における脂質代謝の新機軸
3. 学会等名 日本皮膚科学会大阪地方会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 北條寛典, 吉岡美樹, 平川昌樹, 土屋裕義, 土屋創健, 瀬木-西田恵里, 杉本幸彦
2. 発表標題 オス特異的神経回路形成におけるPGE2-EP受容体の役割
3. 学会等名 第90回日本薬理学会年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 稲住知明, 山田清隆, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 脂質代謝におけるプロスタグランジンEP4受容体の生理機能解析
3. 学会等名 第90回日本薬理学会年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大窪喜丸, 馬驍彦, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 竹尾透, 中渦直己, 成宮周, 杉本幸彦.
2. 発表標題 着床ならびに胎児のスペーシングにおけるプロスタグランジンの役割
3. 学会等名 日本薬学会第137年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 村上里穂, 稲住知明, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 マスト細胞の炎症性応答に対するプロスタサイクリン受容体IPの抑制機構
3. 学会等名 日本薬学会第137年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Murakami M, Sato H, Taketomi Y
2. 発表標題 Phospholipase A2-driven lipid networks in atherosclerosis and metabolic disease
3. 学会等名 第47回日本動脈硬化学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Sugimoto Y, Tsuchiya S, Inazumi T, Narumiya S
2. 発表標題 Roles of prostaglandin E2 in acute inflammation of skin
3. 学会等名 The 14th International conference on Bioactive Lipids in cancer, inflammation and related diseases (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Iwasaki R, Tsuge K, Inazumi T, Kawahara A, Tsuchiya S, Sugimoto Y
2. 発表標題 Prostanoid receptor signaling is involved in vasculogenesis during early development of zebrafish
3. 学会等名 The 14th International conference on Bioactive Lipids in cancer, inflammation and related diseases (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Murakami M
2. 発表標題 sPLA2 in health and disease
3. 学会等名 The 14th International conference on Bioactive Lipids in cancer, inflammation and related diseases (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yamamoto K, Miki Y, Taketomi Y, Kambe N, Kabashima K, Lambeau G, Gelb MH, Murakami M
2. 発表標題 Plasmalogen-lysophosphatidylethanolamine driven by group IIF sPLA2 underlies epidermal-hyperplastic disorders
3. 学会等名 The 14th International conference on Bioactive Lipids in cancer, inflammation and related diseases (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Murase R, Taketomi Y, Sato H, Yamamoto K, Yamamoto T, Murakami M
2. 発表標題 Group X sPLA2 mobilizes 3 polyunsaturated fatty acid metabolites to protect from colitis
3. 学会等名 The 14th International conference on Bioactive Lipids in cancer, inflammation and related diseases (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Taketomi Y, Endo Y, Yamamoto K, Kobayashi T, Murakami M
2. 発表標題 Skin abnormalities in group III secreted phospholipase A2-deficient mice
3. 学会等名 The 14th International conference on Bioactive Lipids in cancer, inflammation and related diseases (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Hirabayashi T, Mouri M, Shimamura T, Ikeda K, Nakata R, Murakami M
2. 発表標題 PNPLA7-mediated production of glycerophosphocholine from lysophosphatidylcholine has a pivotal role in hepatic choline metabolism and systemic energy homeostasis
3. 学会等名 FASEB Summer Research Conference on Lysophospholipids and Related Mediators (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 ホスホリパーゼA2分子ファミリーを起点とした脂質代謝の新しいパラダイム
3. 学会等名 第27回高遠シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 村瀬礼美, 武富芳隆, 佐藤弘泰, 山本圭, 山元俊憲, 村上誠
2. 発表標題 ホスホリパーゼA2分子群を起点とした脂質代謝経路による大腸炎の制御
3. 学会等名 第27回高遠シンポジウム
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 告恭史郎, 岩崎亮, 岸本幸一朗, 川原敦雄, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 ゼブラフィッシュにおけるプロスタノイド受容体の機能解析
3. 学会等名 第14回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム2015
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Inazumi T, Tsuchiya S, Narumiya S, Sugimoto Y
2. 発表標題 Prostaglandin E2 contributes lipid homeostasis in adipose tissue
3. 学会等名 International Symposium on Chronic Inflammatory Diseases, Kumamoto (ISCIDK2015) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Iwasaki R, Tsuge K, Inazumi T, Kawahara A, Tsuchiya S, Sugimoto Y
2. 発表標題 Prostanoid receptor signaling is involved in vasculogenesis during early developmental stage of zebrafish
3. 学会等名 International Symposium on Chronic Inflammatory Diseases, Kumamoto (ISCIDK2015) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンの炎症作用:生理と病態を繋ぐもの
3. 学会等名 第22回日本血液代替物学会年次大会 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 平林哲也, 安城樹, 妹尾勇弥, 池田和貴, 直江綾乃, 石川准子, 有田誠, 秋山真志, 村上誠
2. 発表標題 アシルセラミド生合成と皮膚バリア機能におけるPNPLA1の役割
3. 学会等名 第8回セラミド研究会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンE2による皮膚炎症惹起の分子機構
3. 学会等名 第19回日本ヒスタミン学会(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 脂質による免疫制御の新機軸
3. 学会等名 東京呼吸器フォーラム(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Murakami M
2. 発表標題 Immune regulation by the sPLA2-driven lipid pathways in allergy
3. 学会等名 第44回日本免疫学会学術集会(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 第一世代の脂質メディエーター・プロスタグランジンの生理病態作用
3. 学会等名 第37回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 小野明日香, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 食道扁平上皮癌におけるプロスタノイドの機能解明
3. 学会等名 第37回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 大窪喜丸, 馬驍彦, 橋本美穂, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 堀越裕佳, 竹尾透, 中潟直己, 杉本幸彦
2. 発表標題 着床に關与するプロスタグランジン受容体の解析
3. 学会等名 第37回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 宮本卓馬, 鈴木佑治, 村上里穂, 渡辺真由帆, 森本和志, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジン I2によるマスト細胞応答の制御
3. 学会等名 第37回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 村瀬礼美, 武富芳隆, 佐藤弘泰, 山本圭, 山元俊憲, 村上誠
2. 発表標題 ホスホリパーゼA2分子群による大腸炎の制御
3. 学会等名 第37回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 岸本幸一朗, 告恭史郎, 岩崎亮, 川原敦雄, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 ゼブラフィッシュ初期発生におけるプロスタグランジンI2受容体の機能探索
3. 学会等名 第32回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 平川昌樹, 北條寛典, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 オス特有の脳構造構築におけるプロスタグランジンE2-EP4受容体の役割
3. 学会等名 第32回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 土屋創健, 岩崎亮, 告恭史郎, 杉本幸彦
2. 発表標題 初期発生におけるプロスタグランジン受容体の新規機能: モデル生物としてゼブラフィッシュを用いた解析から
3. 学会等名 第88回日本生化学会大会 (BMB2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 稲住知明, 土屋創健, 猿渡淳二, 中川和子, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンEP4受容体による脂肪細胞機能の調節
3. 学会等名 第88回日本生化学会大会 (BMB2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 大窪喜丸, 馬驍彦, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 堀越裕佳, 竹尾透, 中瀧直己, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンは複数の受容体を介して着床に必須の役割を果たす
3. 学会等名 第88回日本生化学会大会 (BMB2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 IL-33誘導性マスト細胞応答におけるプロスタサイクリン受容体IPの役割
3. 学会等名 第88回日本生化学会大会 (BMB2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Murakami M
2. 発表標題 Lipoquality regulation by the phospholipase A2 family
3. 学会等名 第88回日本生化学会大会 (BMB2015) (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 武富芳隆, 可野邦行, 青木淳賢, 村上誠
2. 発表標題 リゾホスファチジン酸はマスト細胞の成熟に関わる
3. 学会等名 第88回日本生化学会大会 (BMB2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 入江敦, 山本圭, 村上誠
2. 発表標題 ホスファチジルエタノールアミンは破骨細胞融合に関与する
3. 学会等名 第88回日本生化学会大会 (BMB2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 平林哲也, 毛利美紗, 平家圭奈子, 三田村涼美, 池田和貴, 中田理恵子, 北芳博, 村上誠
2. 発表標題 PNPLA7を介した肝臓におけるコリン代謝経路の役割
3. 学会等名 第88回日本生化学会大会 (BMB2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 砂川アンナ, 武富芳隆, 佐藤弘泰, 小林哲幸, 村上誠
2. 発表標題 XIIIA型分泌性ホスホリパーゼA2はIgE依存的な即時型アレルギーを増強する
3. 学会等名 第88回日本生化学会大会 (BMB2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 城戸口優, 山本圭, 三木寿美, 村上誠
2. 発表標題 癌病態におけるIID型分泌性ホスホリパーゼA2の役割
3. 学会等名 第88回日本生化学会大会 (BMB2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 斎藤萌, 村瀬礼美, 武富芳隆, 村上誠
2. 発表標題 III型分泌性ホスホリパーゼA2は大腸癌の進展に関わる
3. 学会等名 第88回日本生化学会大会 (BMB2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 金子亜里紗, 安城樹, 平林哲也, 妹尾勇弥, 柴田章貴, 直江綾乃, 石川准子, 池田和貴, 有田誠, 谷佳津子, 秋山真志, 村上誠
2. 発表標題 皮膚バリア機能に重要なセラミド代謝経路におけるPNPLA1の役割
3. 学会等名 第88回日本生化学会大会 (BMB2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Toyoda Y, Morimoto K, Suno R, Sekiguchi Y, Yamashita K, Hirata K, Yasuda S, Asada H, Nakane T, Shiimura Y, Nakagita T, Inazumi T, Tsuge K, Kajiwara Y, Shimizu T, Urushibata Y, Yoshida S, Kuribara T, Hosoya T, Kinoshita M, Sugimoto Y, Nomura N, Murata T, Takayama K, Yamamoto M, Narumiya S, Iwata S, Kobayashi T
2. 発表標題 Towards structure determination of the human prostanoid receptor bound to the antibody
3. 学会等名 GPCR Workshop 2015 (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 旧くて新しいプロスタグランジンの生理機能
3. 学会等名 第165回東京脂質談話会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 皮膚疾患における脂質代謝の新機軸
3. 学会等名 千葉アレルギークリニカルカンファレンス（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 脂質代謝の新しいパラダイム
3. 学会等名 脂質代謝の基礎と臨床研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩崎亮，告恭史郎，岸本幸一朗，川原敦雄，稲住知明，土屋創健，杉本幸彦
2. 発表標題 初期発生の血管形成におけるゼブラフィッシュ・プロスタノイド受容体の役割
3. 学会等名 日本薬学会 第136年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 稲住知明, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 IL-33によるマスト細胞の炎症性サイトカイン産生におけるプロスタサイクリン受容体IPの役割
3. 学会等名 日本薬学会 第136年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 武富芳隆, 村上誠
2. 発表標題 脂質メディエーターと免疫制御
3. 学会等名 日本薬学会 第136年会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計7件

1. 著者名 北條寛典, 土屋創健, 杉本幸彦	4. 発行年 2015年
2. 出版社 エル・アイ・シー	5. 総ページ数 13
3. 書名 疾患モデルの作製と利用：脂質代謝異常と関連疾患・下巻 (尾池雄一, 佐々木雄彦, 村上誠, 矢作直也編)	

1. 著者名 Inazumi T, Sugimoto Y	4. 発行年 2015年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 10
3. 書名 Bioactive Lipid Mediators, Current Reviews and Protocols	

1. 著者名 武富芳隆, 村上 誠	4. 発行年 2015年
2. 出版社 Life Science Information Center	5. 総ページ数 14
3. 書名 分泌性ホスホリパーゼA2: 疾患モデルの作製と展開: 脂質代謝異常と関連疾患(下巻), 尾池雄一, 佐々木雄彦, 村上 誠, 矢作直哉編	

1. 著者名 平林哲也, 村上 誠	4. 発行年 2015年
2. 出版社 Life Science Information Center	5. 総ページ数 13
3. 書名 細胞内ホスホリパーゼA2: 疾患モデルの作製と展開: 脂質代謝異常と関連疾患(下巻), 尾池雄一, 佐々木雄彦, 村上 誠, 矢作直哉編	

1. 著者名 Murakami M, Taketomi Y	4. 発行年 2015年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 20
3. 書名 Phospholipase A2. Bioactive Lipid Mediators: Current Reviews and Protocols. eds. Yokomizo T, Murakami M	

1. 著者名 佐藤弘泰, 村上 誠	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 10
3. 書名 ホスホリパーゼA2と肥満. 糖尿病・代謝・内分泌 Annual Review 2016	

〔出願〕 計3件

産業財産権の名称 抗がん剤	発明者 土屋創健、村山裕海、杉本幸彦	権利者 国立大学法人熊本大学
産業財産権の種類、番号 特許、特願2017-193596	出願年 2017年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 抗がん剤	発明者 土屋創健、村山裕海、杉本幸彦	権利者 国立大学法人熊本大学
産業財産権の種類、番号 特許、特願2017-193597	出願年 2017年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 慢性特発性蕁麻疹の重症度マーカー、及びその使用	発明者 村上誠	権利者 日本大学・東京大学
産業財産権の種類、番号 特許、特願2019-101289	出願年 2019年	国内・外国の別 国内

〔取得〕 計0件

〔その他〕

http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/Labs/seika/index.html https://lmmhs.m.u-tokyo.ac.jp/home_j.html http://ebook.kumamoto-u.ac.jp/vol_68/ https://sites.google.com/site/lipoqualityjpn/
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	村上 誠 (Murakami Makoto) (60276607)	東京大学・大学院医学系研究科(医学部)・教授 (12601)	